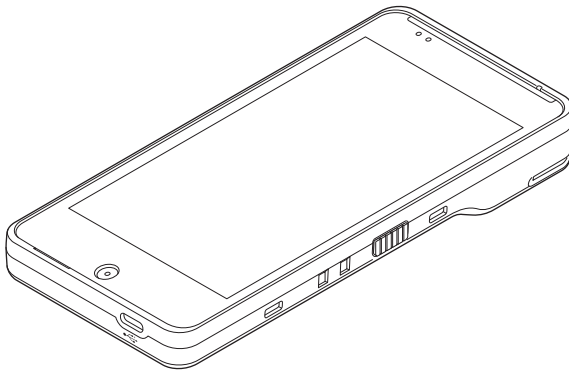




## 取扱説明書＜準備編＞

## モバイル型決済端末

品番 JT-VM1S シリーズ



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（4～10ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。

# はじめに

---

## ■ 本書について

本書は、モバイル型決済端末（JT-VM1Sシリーズ）の基本的な取り扱いについて説明しています。

- 本書は、ワイヤレス WAN 搭載モデルを基本仕様として記載しています。モデルにより使用できる機能は異なります。
- 本機では、カードやバーコードなどの読み取り操作を行います。  
お客様にカードやバーコードなどの読み取りをしていただく場合は、お客様に読み取り操作のしかたを説明してください。
- 本書のイラストは実際と異なる場合があります。
- 本書の内容は、予告なく変更することがあります。
- 別売品の最新情報については、購入先にお問い合わせください。
- 決済業務などの操作方法については、該当する業務の取扱説明書をご参照ください。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 本製品は、日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。</li></ul> |
|--|

# もくじ

---




安全上のご注意 .....	4
使用上のお願い .....	11
法規情報 .....	14
本機の比吸収率 (SAR) について .....	16
商標・ライセンス .....	17
本体と付属品の確認 .....	19
各部の名称と働き .....	20
電子サイン用スタイラスペン (別売品) .....	22
電池パックの取り外し／取り付け .....	23
充電のしかた .....	25
電源を入れる／切る .....	26
本機のセキュリティについて .....	27
磁気カードの読み取り .....	28
接触型 IC カードの読み取り／書き込み .....	29
非接触型 IC カードの読み取り／書き込み .....	30
バーコードの読み取り .....	31
タッチパネル操作について .....	33
ソフトウェア更新 .....	34
困ったときには .....	35
仕様 .....	39

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。






■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 <b>危険</b>	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)







 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
--	--





■ 電池パックについて

 <b>危険</b>	
 禁止	本機専用の充電式電池です この機器以外に使用しない 漏液・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。
 ！	指定の方法で充電する 漏液・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。
 禁止	火への投入、加熱をしない 漏液・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。
 禁止	クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない 漏液・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。

## 安全上のご注意











### ■ 電池パックについて（つづき）

 <b>危険</b>	
 禁止	<b>(+) と (-) を金属などで接触させない</b> ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管したりしない 漏液・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。
 禁止	<b>火のそばや炎天下など、極端に高温の場所または通常は立ち入らない高地のように極端に低い気圧の中で充電・使用・放置をしない</b> 漏液・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。
 水ぬれ禁止	<b>水をかけたり、ぬらしたりしない</b> 漏液・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。
 禁止	<b>落とす・圧力を加えるなどの強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない</b> 漏液・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。 <b>● 電池パックに強い衝撃が加わった場合や外観に変形や破損が見られる場合は、直ちに使用をやめてください。</b>
	<b>劣化したら新品と交換する</b> 漏液・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。

 <b>警告</b>	
 禁止	<b>電池パックからもれた液体に直接触れない</b> 液体が目に入ると失明したり、皮膚や衣服に付着するとかぶれたりするおそれがあります。 <b>● こすらずすぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。</b>
 禁止	<b>電子レンジなどの加熱調理機器や、高圧容器に入れない</b> 加熱や加圧により電池パックが破損し、漏液・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。
	<b>電池パックが液もれしたり、異臭を発したりする場合は火気から遠ざける</b> 漏液・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。

## 安全上のご注意

### ■ 本機、ACアダプターについて

 <b>警告</b>	
	<b>分解や修理、改造をしない</b> ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
分解禁止	
	<b>異物を入れない</b> ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
禁止	
	<b>金属などの導電性物質を充電端子に触れさせない</b> ショートや発熱により、電池パックの漏液・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。
禁止	
	<b>電子レンジに入れたり、電磁調理器などに置いたりしない</b> 発熱・発煙・破裂により、火災の原因になります。
禁止	
	<b>水をかけたり、ぬらしたりしない</b> ショート・発熱・発火・破裂により、火災・感電・けがの原因になります。 ● ぬれた場合は、直ちに電源プラグを抜いて購入先にご相談ください。
水ぬれ禁止	
	<b>ACアダプターのUSBポートやケーブルのプラグ周辺に金属類を放置したり、内部に挿し込まない</b> 火災・やけど・けが・感電の原因になります。
禁止	
	<b>ACアダプターを接続しているときに雷が鳴り始めたら、本機やACアダプターに触れない</b> 感電の原因になります。
接触禁止	
	<b>SIMカードなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない</b> 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。 ● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
禁止	
	<b>指定の電池パック（付属品または指定の別売品）を使用する</b> 漏液・発熱・発煙・破裂・発火の原因になります。

## 安全上のご注意

### ■ 本機、ACアダプターについて（つづき）

## 警告



#### 異常・故障時には直ちに使用をやめる

異常が起きたら直ちに電源プラグを抜き、電池パックを外す

- ・ 破損した
- ・ 内部に水や異物が入った
- ・ 煙が出ている
- ・ 異常なおいや音がする
- ・ 異常に熱い

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 直ちに本機の電源を切って電源プラグを抜き、電池パックを外して修理について購入先にご相談ください。



#### 引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に電源を切る※

ガスに引火して、爆発や火災の原因になるおそれがあります。

給油取扱所での使用については、総務省消防庁の最新の通知・通達に従ってください。

※本機は防爆構造電気機械器具ではありません。



禁止

ACアダプターのコード・ケーブル、電源プラグを破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- コード・ケーブル、電源プラグに異常がある場合は、購入先にご相談ください。



#### 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 使用しないときは、電源プラグを抜いてください。











#### 電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全だと、感電や、発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

## 安全上のご注意

### ■ 本機、ACアダプターについて（つづき）

 <b>警告</b>	
	<p><b>ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない</b> 感電の原因になります。</p>
ぬれ手禁止	
	<p><b>コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V ～ 240 V 以外での使用はしない</b> たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p>
禁止	
	<p><b>航空機内では電源を切る</b> 運航の安全に支障をきたすおそれがあります。</p>
	<p><b>病院での使用については、各医療機関の指示に従う</b> <b>使用を禁止されている場所では本製品の電源を切る</b> 手術室、集中治療室、CCU※などには持ち込まないでください。 本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。 ※ CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。</p>
	<p><b>満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性があるので、電源を切る</b> 電波によりペースメーカーおよび除細動器の作動に影響を与える場合があります。</p>
	<p><b>植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から本機を 15 cm以上離す</b> 電波によりペースメーカーおよび除細動器の作動に影響を与える場合があります。</p>
	<p><b>高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しない</b> 本機からの電波が電子機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。</p>
禁止	<p>※ ご注意いただきたい電子機器の例 補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知機、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者にて電波による影響についてご確認ください。</p>



## 安全上のご注意

### ■ 本機、ACアダプターについて（つづき）



## 注意



禁止

#### 長時間直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に直接触れたまま長時間連続使用すると、低温やけど※の原因になることがあります。

※ 血流状態が悪い人（血管障害、血循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



禁止

#### 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所には置かない

内部に異物が入ると、火災・感電の原因になることがあります。



禁止

#### ACアダプターを接続したまま移動しない

コード・ケーブルが傷つき、火災の原因になることがあります。

● コード・ケーブルが傷ついた場合は、直ちに電源プラグを抜いて購入先にご相談ください。



禁止

#### ACアダプターに強い衝撃を加えない

落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用すると、火災・感電の原因になることがあります。

● ACアダプターに異常がある場合は、購入先にご相談ください。



禁止

#### 高温の場所に長時間放置しない

火のそばや炎天下など極端に高温になる場所に放置すると、外装ケースの変形や、内部部品の故障・劣化を引き起こすことがあります。そのような状態での使用は、ショートや絶縁不良による火災・感電の原因になります。



禁止

#### 不安定な場所に置かない

落下して、けがの原因になることがあります。



禁止

#### フライトライトやエイマー（照準光）の発光部を直視したり、他人の目に向けたりしない

目の傷害や、目がくらんで事故を起こす原因になることがあります。

## 安全上のご注意

### ■ 本機、ACアダプターについて（つづき）

#### 注意



禁止

**カメラのレンズに直射日光などを長時間当てない**

レンズの集光作用により、火災・やけど・けがの原因になることがあります。



**必ず指定品（付属品または指定の別売品）を使用する**

指定以外の機器を使用すると、火災・感電の原因になることがあります。



禁止

**電源プラグを抜くときは、コード・ケーブルを引っ張らない**

コード・ケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



**ディスプレイが破損した場合、割れたガラスやむき出しになった内部、もれた内部の物質には触れないように注意する**

けがの原因になることがあります。

また、内部の物質が皮膚や衣服に付着すると目や皮膚への傷害を起こす原因になります。

こすらずすぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

# 使用上のお願い

本製品を正しくご使用いただくために、次の点をお守りください。

## お願い

- 盗難や紛失を防ぐために、キャビネットなど鍵のかかる場所に入れ、必ず鍵をかけて保管してください。ご使用の際は常に携帯し、盗難や第三者に使用されないようご注意ください。
- 暗証番号やカード情報の漏えい、悪用を防ぐため、日々のご使用の前に、本機に分解または改造された形跡がないか確認してください。異変がある場合は使用せず、購入先にお問い合わせください。

## ■ 本機について

- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。故障、破損の原因になります。
- ディスプレイ上に物を置いたり、先のとがったもので押さえつけたりしないでください。ディスプレイの表面に傷がつく原因になります。
- テレビやラジオの近くに置かないでください。受信障害の原因になることがあります。
- 静電気の起きやすい場所（じゅうたんを使用しているところなど）や、テレビ・ラジオなどの磁気を発生する機器の近くには置かないでください。誤動作・故障の原因になります。
- 本機、周辺機器、ケーブルなどの故障を防ぐため、下記の記載事項をお守りください。
  - ・ 本機の仕様に適合した周辺機器を使用してください。（→39ページ）
  - ・ コネクターの形状、向きに注意して正しく接続してください。
  - ・ 接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向きなどを確認してください。
- 電源端子やポートに、ほこりや油などを付着させないでください。また、傷をつけないでください。
- 本機は動作に必要な重要データを内蔵電池でバックアップしています。内蔵電池が消耗すると、重要データが消失して本機が動作しなくなります。内蔵電池を消耗させないために、できるだけ電池パックは本機から外さないでください。また、電池残量がなくなる前に電池パックの充電をしてください。電池パックは、本機の電源が切れた状態でも少しずつ放電されるため、長期保管時は電池残量がなくならないように注意し、半年に一度以上を目安に電池パックを満充電にしてください。

## 使用上のお願い

### ■ 操作環境・使用場所について

- 本機・付属品は防水／防じん性能を有しておりません。水などの液体をかけたり、ぬらしたりしないでください。また、湿気、砂、ほこりの多い場所では使用しないでください。
- ご使用になる前に、確実に電池カバーを閉じてください。  
内部に液体、砂、ほこり、その他の異物が入らないように、電池カバーは常に清潔にし、開けた後は確実に閉じたことを確認してください。本機と電池カバーの間に異物がはさまらないようにご注意ください。
- 強い電磁波のあるところから離して使用してください。  
(例) 電子レンジ、無線機、トランシーバー、磁石、万引き防止装置、高圧線、自動ドア、通信用アンテナ、タグ解除機など
- 寒い場所から暖かい場所へ移すと結露することがあります。結露した場合は、付着した水滴が蒸発するまで本機の使用を控えてください。

### ■ お手入れについて

- お手入れの際は、必ず電源を切ってください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。
  - ・ ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、本体表面に影響を与えるおそれがありますので使用しないでください。
  - ・ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

### ■ 電池パックについて

- 電池パックは消耗品です。電池パックの使用状態により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合があります。なお、目安として使用開始約1年または充電回数が約500回を超えると、電池が劣化します。  
電池パックが膨らんできたり、満充電後、短時間で消耗するようになったら、新しい電池パックと交換してください。
- 電池パックの端子部には、触れないでください。接触不良の原因になります。
- 電池パックを本機に取り付けておいた場合、本機の電源が切れた状態でも少しずつ放電されます。この状態が長期間（数か月以上）続くと電池が過放電状態になり性能が劣化する可能性があります。
- 電池パックは、周囲温度－20℃～35℃の範囲で保管してください。範囲外での保管は、電池パックの性能や寿命を低下させます。
- 電池パックを保管したり持ち運んだりするときは、ゴミや汚れが付着しないようにしてください。また、端子部に異物やゴミなどを接触させないでください。
- 規定の充電時間が過ぎても充電が終了しない場合は、本機から取り外してください。電池パックの保護装置がこわれているおそれがあります。

## 使用上のお願い

---

- 装着した電池パックが本機で認識できなかった場合は充電できません。必ず指定の電池パックをご使用ください。
- 本電池パックは、充電式リチウムイオン電池です。



このマークはリチウムイオン電池のリサイクルマークです。

Li-ion 00

- 不要になった電池パックは、捨てないでリサイクル協力店へご持参ください。  
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。  
ホームページ： <https://www.jbrc.com>
- 使用済み電池パックの取り扱いについて
  - ・ 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
  - ・ 分解しないでください。

### ■ 暗証番号の入力方法について（お客様にお伝えください）

- 暗証番号の漏えい、悪用を防ぐため、以下のことをお守りください。
  - ・ 必ずお客様に入力していただいでください。
  - ・ お客様に手に持って入力していただいでください。
  - ・ 周りの人に見られたり、監視カメラに映ったりしないように、手や体で隠すようにして入力していただいでください。
- 暗証番号の入力ミスを防ぐため、入力音や画面表示を確認しながら確実に入力していただいでください。

# 法規情報

日本国内で無線LAN / Bluetooth®をお使いになる場合のお願い

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、購入先にお問い合わせください。

本機の無線LAN 機能（2.4 GHz帯）が使用する周波数帯

**2.4 DS/OF 4**

本機が、2.4 GHz周波数帯（2412から2472 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式／直交周波数分割多重（OF）方式の無線装置で、与干渉距離が約40 mであることを意味します。

本機のBluetooth 機能が使用する周波数帯

**2.4 FH 1/XX 1**

本機が、2.4 GHz周波数帯（2402から2480 MHz）を使用する周波数ホッピング（FH）方式／その他の方式の無線装置で、与干渉距離が約10 mであることを意味します。

無線LANアクセスポイントのチャンネル幅を40 MHz帯域に設定した状態で本機の無線LAN機能（2.4 GHz）をご使用中に、周囲に同一の周波数帯を使用する機器があると、電波干渉により通信速度が遅くなるなどの障害が発生する場合があります。

電波干渉が発生した場合は、無線LANアクセスポイントのチャンネル幅を20 MHz帯域に変更すると改善することがあります。

チャンネル幅の変更方法については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご確認ください。

5.2 GHz/5.3 GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2 GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合は除く）。

上記のご注意は画面にも表示されます。電源を入れた状態で、電源ボタンを長押し（2秒以上）して表示される画面の「認証情報」をタッチしてご確認ください。

## 法規情報

**改造された本機は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**

本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」の情報が画面に表示されます。電源を入れた状態で、電源ボタンを長押し（2秒以上）して表示される画面の「認証情報」をタッチしてご確認いただけます。本機のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

本機の非接触型ICカードリーダー／ライター機能は、周波数13.56 MHzの誘導電波を使用しています。周囲で他の非接触型ICカードリーダー／ライターなどをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

本機は、総務省の型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。本機を改造した状態で使用すると電波法に抵触するため、その設備は絶対に使用しないでください。本機の型式指定は画面に表示されます。電源を入れた状態で、電源ボタンを長押し（2秒以上）して表示される画面の「認証情報」をタッチしてご確認いただけます。なお、型式指定番号は以下をご参照ください。

機種名（型式名称）	指定番号
JT-VM1S-1※1	第HC-24005号
JT-VM1S-2※2	第HC-24004号

※1 ワイヤレスWAN非搭載モデル

※2 ワイヤレスWAN搭載モデル

本機は、VCCI自主規制措置運用規定に基づく技術基準に適合しており、その適合マークは画面に表示されます。電源を入れた状態で、電源ボタンを長押し（2秒以上）して表示される画面の「認証情報」をタッチしてご確認いただけます。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

電池パック銘板、ACアダプター銘板の図記号について

～	: 交流
---	: 直流
□	: クラスⅡ機器

# 本機の比吸収率（SAR）について

本機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

本機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、データ通信端末に対するSARの許容値は2.0 W/kgです。

取扱説明書に記述する通常使用の場合のSARの最大値は以下のとおりです。

機種名（型式名称）	最大値（W/kg）※2
JT-VM1S-2※3	1.013 W/kg

個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。

本機と身体の間金属（部分）が含まれない状態で使用することで、本機は国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 この値は、同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 ワイヤレスWAN搭載モデル



# 商標・ライセンス

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニック ホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
  - QR コード は (株) デンソーウェーブの登録商標です。
  - FeliCa は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCa は、ソニー株式会社の登録商標です。
  - USB Type-C® および USB-C® は USB Implementers Forum の登録商標です。
  - その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。
- 
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License 及び AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておられません。
    - ・ 画像情報を MPEG-4 Visual、AVC 規格に準拠して (以下、MPEG-4/AVC ビデオ) 記録すること。
    - ・ 個人的活動に従事する消費者によって記録された MPEG-4/AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した MPEG-4/AVC ビデオを再生すること。詳細については Via Licensing Alliance LLC ホームページ (<https://www.via-la.com>) をご参照ください。
  - オムロンソフトウェア (株) の iWnn IME for Android を使用しています。  
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2011 All Rights Reserved.
  - 本製品には、GNU General Public License (GPL), GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェア及び GPL、LGPL 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェアが含まれています。  
お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL、LGPL またはソースコードの開示義務その他の条件に従い、複製、頒布及び改変することができます。  
本製品の引渡から少なくとも3年間、パナソニック コネクト株式会社は以下の問い合わせ先にお問い合わせされた方に、配布に要する実費をご負担頂くことを条件として、機器による読取が可能な GPL / LGPL が適用されるソースコードの複製物またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応するソースコードの複製物を提供いたします。  
<お問い合わせ先>  
[oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com](mailto:oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com)  
当該ソフトウェアに関する詳細 (GPL / LGPL の各ライセンス文含む) は、  
[設定] → [タブレット情報] → [法的情報] の手順で確認することができます。

## 商標・ライセンス

---

- This product includes the Independent JPEG Group's software. This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- This product includes other free software or open source software.
- For more details on the relevant software (including license information), refer to the information displayed on the following screen: [設定] → [タブレット情報] → [法的情報] .

# 本体と付属品の確認

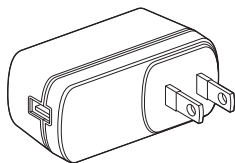
- 万一、足りない場合は購入先にお問い合わせください。
- 機種により、付属品が異なる場合があります。詳しくは購入先にお問い合わせください。

## ■ 本体 × 1

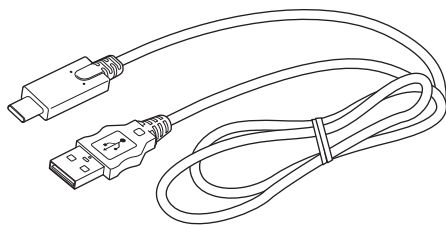
## ■ 電池パック (JT-VZBT10シリーズ) × 1

- お買い上げ時、電池パックは本体に取り付けてあります。

## ■ ACアダプター (FZ-AAE184EJS) × 1 ※



## ■ USBケーブル (USB Type-A - USB Type-C®) × 1 ※



## ■ 安全上のご注意 × 1

- ※ACアダプター (FZ-AAE184EJS) を購入する場合は、購入先にお問い合わせください。  
ACアダプターと本機を接続するには、指定のUSBケーブルが必要です。

## <別売品>

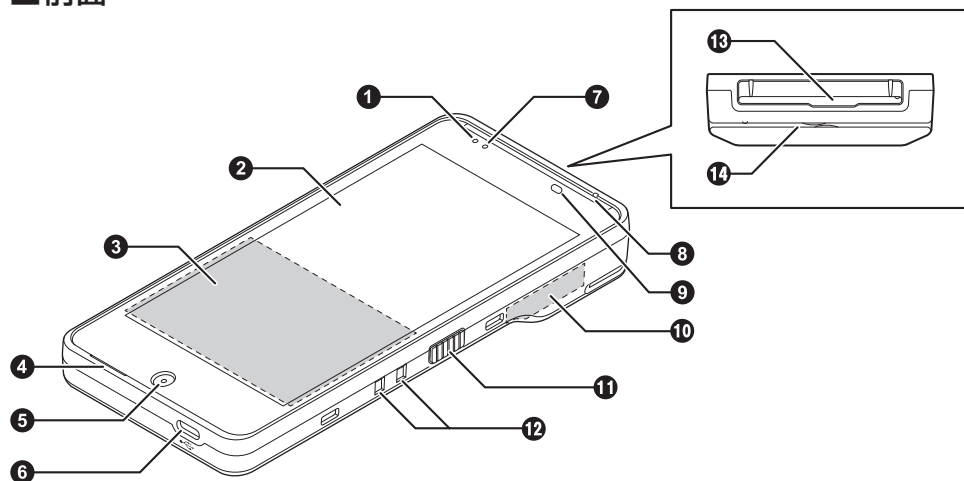
- 購入方法は、購入先にお問い合わせください。

## ■ 電池パック (JT-VZBT10シリーズ)

## ■ 電子サイン用スタイラスペン (JT-C60ZSP-10) (→22ページ)

# 各部の名称と働き

## ■ 前面



### ① 状態表示ランプ

橙点灯：充電中

緑点灯：充電完了

赤点灯：電池残量約25 %以下※1

### ② ディスプレイ（タッチパネル）

- 保護シートが貼られている場合は、はがしてから使用してください。保護シートをはがしにくい場合は、保護シートの角の部分にセロハンテープなどを貼り、セロハンテープごとゆっくりとはがしてください。

### ③ 非接触型ICカードかざし部

### ④ スピーカー

### ⑤ フロントカメラ

バーコードまたはQRコードを読み取ります。

### ⑥ USB Type-C®ポート (→25ページ)

### ⑦ 動作表示ランプ

緑点灯：非接触型ICカードのカード処理完了

緑点滅：タンパー検出

### ⑧ マイク

### ⑨ 照度センサー※2

ディスプレイの輝度を自動で調整します。

### ⑩ GPS / 無線LAN / Bluetooth アンテナ※3

### ⑪ サイドボタン

### ⑫ 充電端子

### ⑬ 接触型ICカード挿入口

### ⑭ 磁気カードリーダー

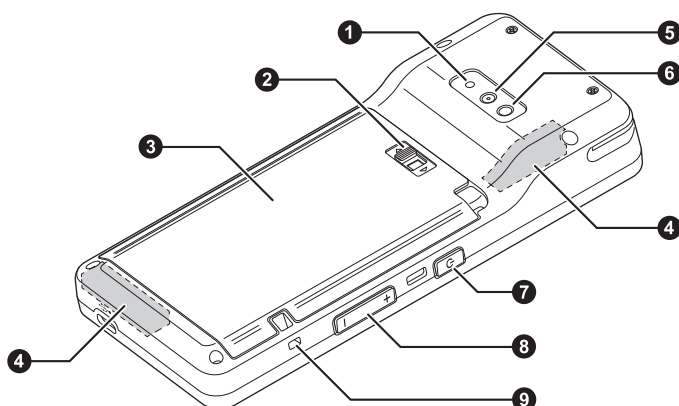
※1 15 %以下になると、取引ができません。充電してください。

※2 手や物で覆わないでください。また、シートやシールなどを貼らないでください。正常に動作しなくなる場合があります。

※3 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手や物で覆うと正常に動作しなくなる場合があります。

## 各部の名称と働き

### ■背面



① フォトライト

② ロックレバー

③ 電池カバー

④ モバイルネットワークアンテナ※1  
(ワイヤレスWAN搭載モデルのみ)

⑤ リアカメラ  
バーコードまたはQRコードを読み取り  
ます。

⑥ エイマー (照準光)

⑦ 電源ボタン (⏻) (→26ページ)

⑧ 音量ボタン

⑨ ケーブル取り付け穴  
スタイラスペン用ケーブルなどを取り  
付けます。

※1 アンテナは本体に内蔵されています。  
アンテナ付近を手や物で覆うと正常に  
動作しなくなる場合があります。

# 電子サイン用スタイラスペン（別売品）

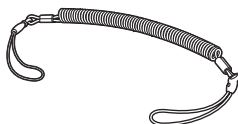
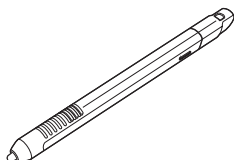
スタイラスペンでディスプレイに触れて、電子サインなどをすることができます。  
 スタイラスペンを使うときは、スタイラスペンの設定を有効にしてください。  
 (→取扱説明書＜端末設定編＞「ディスプレイ設定」)

- 電子サイン用スタイラスペンは消耗品です。

## 構成品

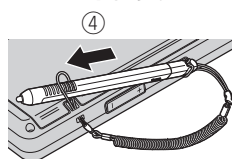
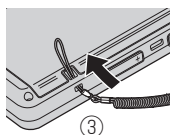
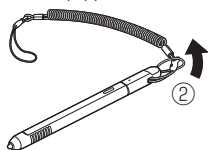
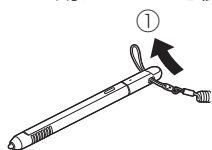
スタイラスペン

ペン用ケーブル



## 取り付けかた

ペン用ケーブルを使って、本体のケーブル取り付け穴に取り付けることができます。



## ◆お願い

- ペン用ケーブルを強く引っ張らないでください。スタイラスペンを離したときに、本体や人などに当たることがあります。
- ペンだけを持って、本体を持ち運ばないでください。本体が人などに当たることがあります。
- スタイラスペンは、画面操作以外の用途に使わないでください。別の用途に使うと、スタイラスペンが故障したり、ディスプレイに傷をつけたりすることがあります。
- ディスプレイやスタイラスペンのペン先にほこりや油などの汚れが付着したときは、スタイラスペンを使わないでください。ディスプレイやスタイラスペンの先に異物が付着していると、ディスプレイが傷ついたり、正しく使用できなくなることがあります。使用する前にディスプレイとスタイラスペンの先を清掃してください。
- スタイラスペンに無理な力をかけないでください。ディスプレイが破損したり、スタイラスペンの先が破損したり劣化したりすることがあります。

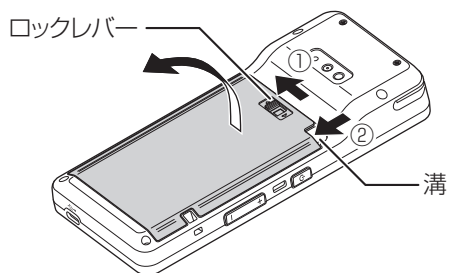
# 電池パックの取り外し／取り付け

## ■電池パックの取り外し

- 必ず電源を切ってください。
- ACアダプターは接続しないでください。

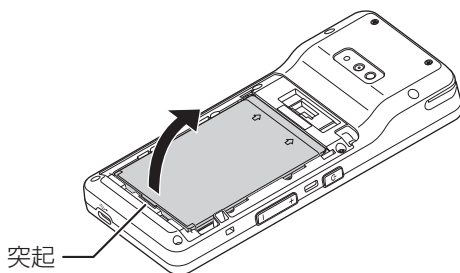
### 1 電池カバーを取り外します。

- ロックレバーをUNLOCKの方向にスライドし (①)、電池カバーの溝に指をかけて (②)、持ち上げます。



### 2 電池パックを取り外します。

- 電池パックの突起に指をかけて、持ち上げます。



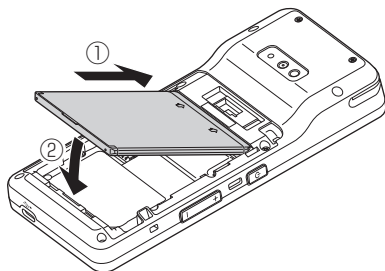
## 電池パックの取り外し／取り付け

### ■電池パックの取り付け

- AC アダプターは接続しないでください。

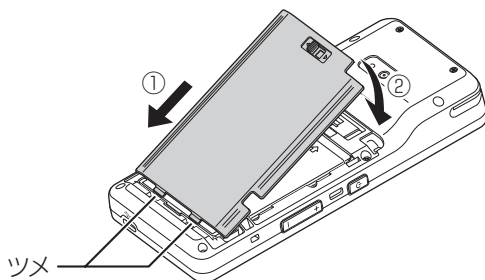
#### 1 電池パックを取り付けます。

- 電池パックの端子側を本体に差し込み  
(①)、下に押し込みます (②)。



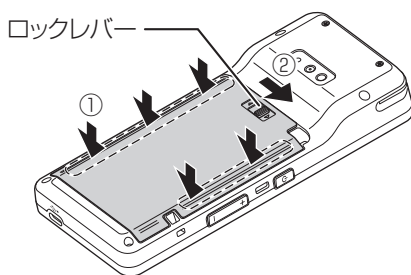
#### 2 電池カバーを取り付けます。

- 電池カバーのツメを本体の溝に差し込み  
(①)、下に押し込みます (②)。



#### 3 電池カバーを固定します。

- 電池カバーの外周部分を押し (①)、  
電池カバーと本体の間に浮きがないこ  
とを確認します。
- ロックレバーを LOCK の方向にスラ  
イドします (②)。  
ロックレバーの赤い部分が見えなくな  
るまでしっかりとスライドしてくださ  
い。



### ◆お願い

- 本機は AC アダプターのみでは動作しません。必ず充電された電池パックを装着してご  
使用ください。
- 電池パックを外すと日付設定、時刻設定は初期値、または前回自動で設定した日付・時  
刻に戻ります。無線 LAN、モバイルネットワークに接続すると、日付・時刻は自動で設  
定されます。



# 充電のしかた

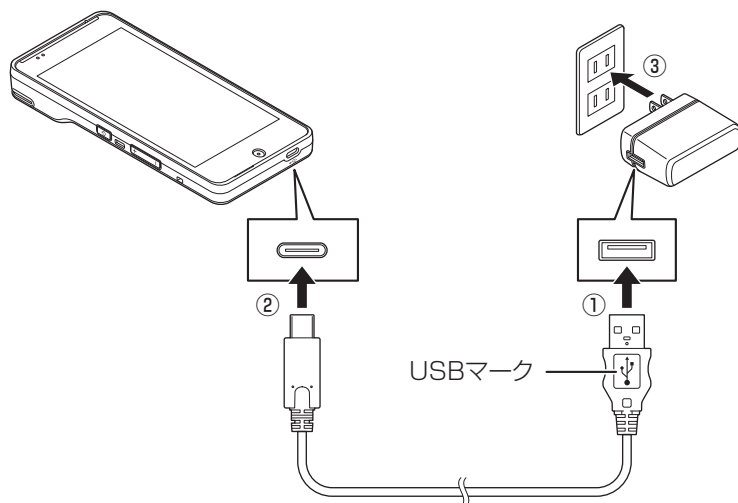
はじめてご使用になるときや電池パックを交換したときは、必ず充電してください。

- 充電は周囲温度が5℃～35℃で行ってください。充電中に温度範囲外になると、充電が停止する場合があります。
- 電池パックが過放電状態（本機を長期間使用していないなど）になった場合、充電開始まで時間がかかる場合があります。
- 過充電防止のため、満充電後にACアダプターを接続し続けていても、電池残量が約96%以下になるまでは充電を再開しません。
- ケーブルのコネクターは、向きをよく確かめて挿し込んでください。接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状や向きなどを確認してください。
- ACアダプターは、本機から10 cm以上離してください。磁気カードリーダーが誤動作するおそれがあります。
- ACアダプターは、抜きやすい位置にあるコンセントに差し込み、異常が起きた場合にコンセントからすぐに抜けるようにしておいてください。

**1 USBケーブルのUSBマークを上にして、ACアダプター (①) と本機 (②) に接続します。**

**2 ACアダプターの電源プラグ (③) をコンセントに挿し込みます。**

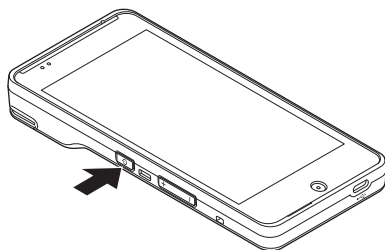
- 電源が切れている状態でACアダプターをコンセントに接続すると、自動的に電源が入ります。



# 電源を入れる／切る

## ■電源を入れる

- 1 電源ボタンを長押し（3秒以上）します。



## ■電源を切る

- 電源を切るときは、ACアダプターを接続したままにしないでください。  
ACアダプターを接続していると、再度自動的に電源が入ります。
- 1 「電源を切る／再起動／認証情報」の画面が表示されるまで電源ボタンを長押し（2秒以上）します。
  - 2 「電源を切る」をタッチします。
    - 「電源を切る／再起動／認証情報」の画面以外の領域をタッチすると、元の画面に戻ります。
    - 再起動する場合は、「再起動」をタッチします。

## ■スリープ状態について

本機を一定時間操作しなかったときは、画面が消灯してスリープ状態になります。  
スリープ状態では、電力消費を抑え、タッチパネルの誤操作を防止します。  
スリープ状態で電源ボタンを押すと、スリープ状態が解除され、画面が表示されます。  
(スリープ状態へ移行するまでの時間設定→取扱説明書＜端末設定編＞「ディスプレイ設定」)

# 本機のセキュリティについて

## ■無線LANご使用時のセキュリティについて

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用して本機と無線LANアクセスポイントとの間で情報のやりとりを行います。

このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。その反面、ある範囲であれば障害物（壁等）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる  
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、通信内容を盗み見る可能性があります。
- 不正に侵入される  
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のコンピューターやネットワークへアクセスを行う可能性があります。

本機の無線LAN機能や無線LANアクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線LANアクセスポイントにあわせて設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。

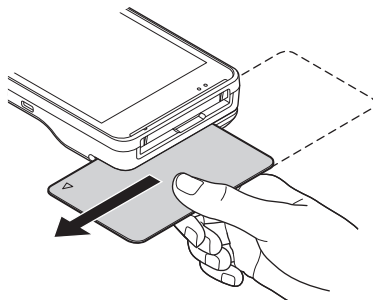
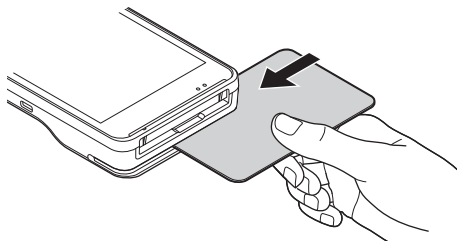
無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

無線LANのセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線LANの仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティに関する設定は、より高いセキュリティ方式、および証明書をご使用ください。ご不明点がございましたら購入先にお問い合わせください。

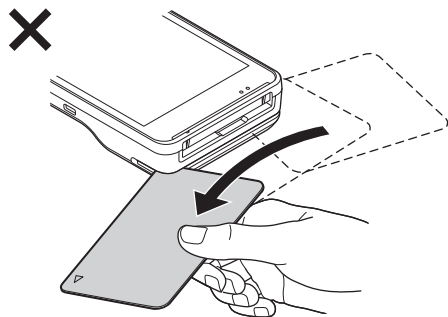
# 磁気カードの読み取り

- 1 磁気カードに表示されている矢印などのガイドの向きを確認し、磁気ストライプの面を下にしてカードリーダーの奥まで差し込みます。
  - カードを差し込むときは、カードリーダーから離れたり、傾いたりしないようにしてください。
- 2 カードをカードリーダーの奥に押し当てながら、一定の速度でまっすぐにスライドします。



## ◆お願い

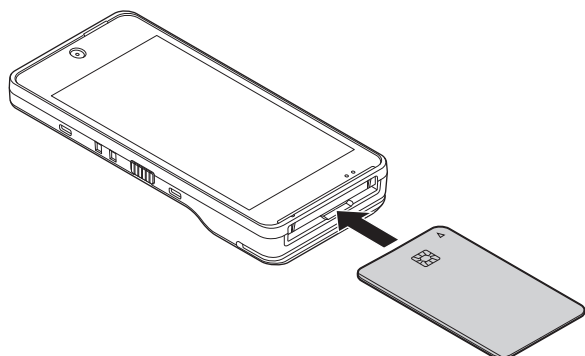
- 下記のようなカードは通さないでください。
  - 磁気カード以外のもの
  - 水にぬれたり、割れたりしたカード
  - シールやラベルなどを貼り付けたカード
- カードの汚れや磁気ストライプの汚れは、ふき取ってからご使用ください。
- カードはまっすぐにスライドしてください。手前に円弧を描くようにスライドすると、カードが正しく読み取れない場合があります。



# 接触型 IC カードの読み取り／書き込み

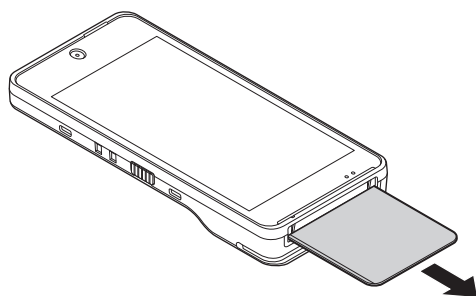
## 1 接触型 IC カードの接点部を上にして、接触型 IC カード挿入口に水平に差し込みます。

- カードがきちんと止まるまで差し込んでください。



## 2 処理が完了したら、カードを引き抜きます。

- 画面にカード処理完了のメッセージ（「承認されました」など）が表示されるまで、カードを引き抜かないでください。



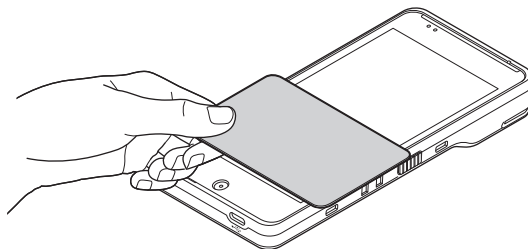
### ◆お願い

- 接触型 IC カードでの取引は、無線 LAN ／ワイヤレス WAN の電波状態が良好な場所で行ってください。
- 下記のようなカードは差し込まないでください。
  - 接触型 IC カード以外のもの
  - 水にぬれたり、割れたりしたカード
  - シールやラベルなどを貼り付けたカード
- カードの汚れや接点の汚れは、ふき取ってからご使用ください。
- 接触型 IC カード挿入口に異物や汚れが付着しないよう、日々のご使用の前に清掃してください。使用中に異物や汚れが付着したときは、直ちにに取り除いてください。

# 非接触型 IC カードの読み取り／書き込み

- 1 非接触型 IC カードの中心またはスマートフォンに印字されている FeliCa などのマークを、画面に表示されているガイド (FeliCa マークなど) の位置に合わせます。

- 表示されるガイドはカードによって異なります。



## ◆お願い

- 非接触型 IC カードでの取引は、無線 LAN / ワイヤレス WAN の電波状態が良好な場所で行ってください。
- スマートフォンをディスプレイなどに強くぶつけないようにご注意ください。
- 読み取り／書き込みができない場合は、カードまたはスマートフォンの位置を少しずらしてください。
- ご使用になるときは、他の非接触型 IC カードリーダー／ライターから十分に離してください。カードが正しく読み取れない場合があります。

# バーコードの読み取り

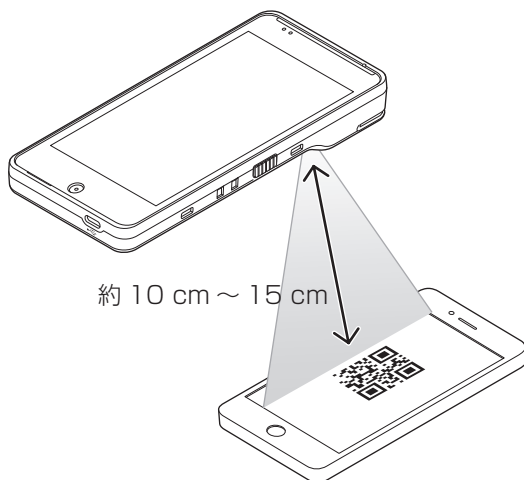
バーコードまたはQRコードを読み取ります。

読み取りは、あらかじめ設定されたカメラ（フロントカメラ／リアカメラ）で行います。  
設定方法は、取扱説明書＜端末設定編＞をご参照ください。

## ＜リアカメラで読み取る場合＞

### 1 カメラをバーコードやQRコードの中心に合わせ、約 10 cm ～ 15 cm 離れた位置で、音が鳴るまでかざします。

- 本機にバーコードやQRコードの読み取り映像を表示することができます。表示を確認しながら、バーコードやQRコードが画面に収まるように本機を動かしてください。

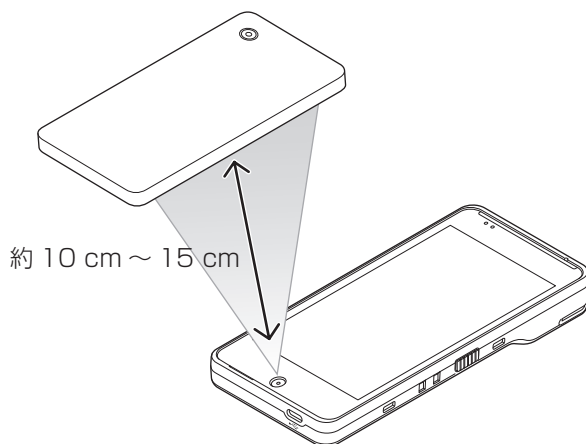


## バーコードの読み取り

### <フロントカメラで読み取る場合>

#### 1 バーコードやQRコードの中心をカメラに合わせ、約10 cm～15 cm 離れた位置で、音が鳴るまでかざします。

- 本機にバーコードやQRコードの読み取り映像を表示することができます。表示を確認しながら、バーコードやQRコードが画面に収まるようにかざしてください。



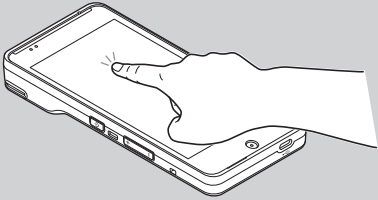
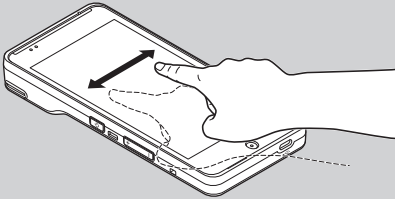
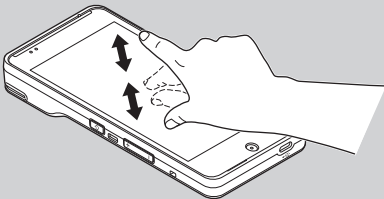
#### ◆お願い

- 本機のカメラに照明が映らないようにして、ご使用ください。カメラに照明が映ると、バーコードやQRコードが読み取れないことがあります。
- リアカメラで読み取るときに、照準光が出る場合があります。照準光を直視したり、他人の目に向けたりしないようご注意ください。
- バーコードまたはQRコードの読み取りは、決済を行うセンターの仕様により対応していない場合があります。購入先にお問い合わせください。
- 商品などのバーコードやQRコードを読み取る場合は、対応するアプリケーションが必要です。対応するアプリケーションについては、購入先にお問い合わせください。



# タッチパネル操作について

一般的なタッチパネルの操作例です。

<p>タッチ</p>  An illustration of a hand with the index finger touching the screen of a smartphone. The phone is shown from a three-quarter perspective, and the hand is positioned as if about to interact with the screen.	<p>画面上の項目を選びます。</p>
<p>スワイプ（フリック）</p>  An illustration of a hand performing a swipe gesture on a smartphone screen. A dashed line and an arrow indicate the direction of the swipe from left to right. The phone is shown from a three-quarter perspective.	<p>画面をスクロールします。 フリックは画面を素早くスクロールします。</p>
<p>ピンチ</p>  An illustration of a hand performing a pinch gesture on a smartphone screen. Two fingers are shown moving towards each other, with dashed lines and arrows indicating the inward motion. The phone is shown from a three-quarter perspective.	<p>表示を拡大したり縮小したりします。 アプリケーションによっては、画面をダブルタッチすることで表示を拡大したり縮小したりすることができます。</p>

# ソフトウェア更新

本機をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。

## ◆重要

- ソフトウェア更新中はACアダプターを接続してください。ソフトウェア更新中にACアダプターを外さないでください。

## ■ソフトウェア更新が必要になると

ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新実行のメッセージ（「インストールされます、再起動します」など）が表示され、自動的にソフトウェア更新を行います。

## ◆注意事項

- 本機の電源を入れた後は、必ずソフトウェア更新確認が実行されます。
- ソフトウェア更新は、本機に登録した端末設定や管理機能設定などのデータを残したまま行えますが、本機の状態（故障・破損・水ぬれなど）によってはデータの保護ができません場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 下記の場合はソフトウェア更新ができません。
  - 電源が入っていないとき
  - ネットワークに接続されていないとき
  - 日付と時刻が正しくないとき
  - 電池残量が50%未満で、かつ充電していないとき
- ソフトウェア更新には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は本機を利用できません。
- ソフトウェア更新の際、本機の固有情報（品番や製造番号など）がソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は、送信された情報をソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合は、本機が起動しなくなったり、失敗した旨のメッセージ（「端末更新確認に失敗しました。」など）が繰り返し表示されたりします。購入先にお問い合わせください。

# 困ったときには

本機をご使用中に、「おかしいな？」と思ったら、以下の対処方法をお試しください。  
それでも現象が変わらない場合は、購入先にお問い合わせください。

## ■電源

現 象	考えられる原因	対 策
電源が入らない	電池パックが充電されていません。	電池パックを充電してください。(→25ページ)
	電池パックの寿命です。	電池パックを新しいものに交換してください。(→23ページ)
	動作に必要な重要データが消失しています。	内蔵電池が消耗し、動作に必要な重要データが消失した可能性があります。(→11ページ) 購入先にお問い合わせください。
再起動している 電源が切れている	本機が高温の状態が続いた可能性があります。	本機が高温の状態が続くと、一部の機能を終了したり、自動で再起動または電源を切る場合があります。 本機の温度が下がってから、電源を入れ直してください。
	動作に必要な重要データが消失しています。	内蔵電池が消耗し、動作に必要な重要データが消失した可能性があります。(→11ページ) 購入先にお問い合わせください。
電源を入れても画面が表示されない 画面表示するが、すぐに消える	電池パックが充電されていません。	電池パックを充電してください。(→25ページ)
	電池パックの寿命です。	電池パックを新しいものに交換してください。(→23ページ)

## 困ったときには

### ■状態表示ランプ

現 象	考えられる原因	対 策
状態表示ランプが赤色に点滅する	周囲の温度が高すぎるまたは低すぎるため、一時的に充電ができなくなっています。	本機を5℃～35℃の温度環境にしばらく置き、その後もう一度充電してください。
	充電が自動的に止まった可能性があります。	ACアダプターを接続し直してください。
	電池パックの端子部にゴミが付着している可能性があります。	電池パックを取り外し、ゴミを取り除いてください。
	電池パックの寿命です。	電池パックを新しいものに交換してください。(→23ページ)
充電中に状態表示ランプが点灯しない 充電できない	ACアダプターが正しく接続されていません。	正しく接続し直してください。(→25ページ)
	電池パックの端子部にゴミが付着している可能性があります。	電池パックを取り外し、ゴミを取り除いてください。
	電池パックの寿命です。	電池パックを新しいものに交換してください。(→23ページ)
	周囲の温度が高すぎるまたは低すぎるため、一時的に充電ができなくなっています。	本機を5℃～35℃の温度環境にしばらく置き、その後もう一度充電してください。
充電が早く終わる	電池パックの寿命です。	電池パックを新しいものに交換してください。(→23ページ)

## 困ったときには

### ■ディスプレイ

現 象	考えられる原因	対 策
残像が表示される	同じ画面を長時間表示させていると残像になることがあります。	別の画面を表示してください。
こすったり、押し たりした跡が残る	強くこすったり、押し たりすると、その 跡が残ることがあり ます。	一度電源ボタンを押して画面を消灯させ てから、再度電源ボタンを押して画面を 表示させてください。
タッチパネルが操 作できない タッチパネルが意 図しない動作をす る	電源が入っていません。	電源を入れてください。(→26ページ)
	エラーが発生してい ます。	一度電源ボタンを押して画面を消灯させ てから、再度電源ボタンを押して画面を 表示させてください。
		一度電源を切ってから、再度電源を入れ てください。(→26ページ) ● 通常の方法で電源が切れない場合は、購 入先にお問い合わせください。
	接続されている周辺 機器（POS等）が本 機を制御しています。	周辺機器側の画面の指示や取扱説明書に 従ってください。
画面が自動的に暗 くなる	低温環境で使用して いるとき、一時的に ディスプレイの明る さを制限します。	本機を10℃～35℃の温度環境にしば らく置いてください。
スタイラスペンで 画面の操作ができ ない	スタイラスペンの設 定が無効になってい ます。	スタイラスペンの設定を有効にしてくだ さい。(→取扱説明書<端末設定編>「ディ スプレイ設定」)

## 困ったときには

### ■その他

現 象	考えられる原因	対 策
取引ができない	電池残量が少なくなっています。	電池残量が15 %以下になると、取引ができません。 充電してください。(→25ページ)
	電波状態が良くありません。	無線LAN / ワイヤレスWANの電波状態が良くないと、取引ができない場合があります。電波状態が良好な場所に移動してください。(→取扱説明書<端末設定編>「画面・アイコンの説明」)
磁気カードの読み取りができない 接触型ICカードの読み取りができない	使用できないカードの可能性があります。	本機で使えるカードかどうか確認してください。(→39ページ)
	カードが汚れています。	カードの汚れをふき取ってください。
	周囲に強い電磁波がある可能性があります。	場所を移動し、強い電磁波のあるところから離して使用してください。(→12ページ)
非接触型ICカードの読み取りができない	使用できないカードの可能性があります。	本機で使えるカードかどうか確認してください。(→39ページ)
	周囲に強い電磁波がある可能性があります。	場所を移動し、強い電磁波のあるところから離して使用してください。(→12ページ)
使用中に電源が切れる	低温環境でバーコード読み取りを行ったり、スピーカーが鳴動するときに、電源が切れる場合があります。	十分に充電された電池パックに交換するか、指定の温度環境で充電してください。

# 仕様

本製品（付属品含む）は日本国内仕様です。このページには基本モデルの仕様を掲載しています。

## ■本体

項目		仕様
CPU		ARM系 Octa Core
メモリー		4 GB
フラッシュメモリー		32 GB
ディスプレイ	表示方式	TFTカラー液晶
	表示色	16 777 216色
	画面寸法	5.5型
	ドット数	1440 ドット×720 ドット※ <sup>1</sup>
タッチパネル ※ <sup>2</sup> ※ <sup>3</sup>	方式	静電容量方式
	入力数	マルチタッチ5ポイント
	ペン入力	パッシブ方式
磁気カード リーダー	対応カード	JIS I 型（第1・第2トラック） および JIS II 型
	操作方式	手動式
接触型ICカード リーダー／ライター	対応カード	ISO/IEC 7816規格準拠接触型ICカード
	操作方式	手動挿入、手動排出
非接触型ICカード リーダー／ライター	対応カード	ISO/IEC 14443 (TypeA / TypeB) 規格準拠非接触型ICカード および FeliCa
USBポート	準拠規格	USB 2.0※ <sup>4</sup>
	コネクタ	USB Type-C® × 1 (Host / Device用)
無線LAN	準拠規格	IEEE 802.11 a/b/g/n/ac (セキュリティ方式は、 WPA/WPA2/WPA3-Personal, WPA/WPA2/WPA3-Enterprise (TLS, TTLS, PEAP, PWD) , WPA3-Enterprise 192bit)
モバイルネット ワーク※ <sup>5</sup>	通信方式	LTE with CA
	SIMカードスロット	nanoSIMカードスロット × 1
測位機能※ <sup>5</sup>		GPS/GLONASS/QZSS/Galileo

## 仕様

項目		仕様	
Bluetooth	バージョン	Ver5.1※6 (対応プロファイルは、HID/SPP/GATT)	
カメラ	画素数	フロント 800万画素 リア 800万画素	
センサー		照度センサー	
スピーカー		モノラルスピーカー ×1	
マイク		内蔵マイク ×1	
セキュリティ		耐タンパー機能あり※7、PCI PTS規格対応	
ACアダプター	入力	AC100 V～240 V、50 Hz/60 Hz	
	出力	DC5.0 V、1.8 A	
外形寸法（幅×奥行×高さ）		約76 mm×167 mm×17 mm (最厚部 約24 mm)	
質量 (電池パック装着時、ACアダプターは除く)		約287 g (ワイヤレスWAN搭載モデル) 約282 g (ワイヤレスWAN非搭載モデル)	
環境条件	操作時	温度	－5 ℃～50 ℃
		湿度	30 %～80 % RH（結露なきこと）
	保管時	温度	－20 ℃～60 ℃※8
		湿度	30 %～80 % RH（結露なきこと）

## ■電池パック

項目	仕様
種別	リチウムイオン電池
定格	3.8 V、3000 mAh
充電時間	約3時間 <sup>※9</sup>
外形寸法（幅×奥行き×高さ） (突起部を除く)	約58 mm×80 mm×6 mm
質量	約59 g



## 仕様

---

- 本製品の仕様およびデザインは予告なく変更することがあります。
- ※1 本機に搭載している液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、一部のドットが点灯していなかったり、常時点灯していたりする場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ※2 手袋をしたまま操作したり、ぬれた手で操作したりしないでください。
- ※3 タッチパネルにはシートなどを貼り付けしないでください。タッチパネル誤動作の原因となります。
- ※4 USB 2.0対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
- ※5 ワイヤレスWAN搭載モデルのみ。
- ※6 Bluetooth対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
- ※7 改造・改ざんされるなどのセキュリティ異常を検知する機能です。タンパー検出後、復旧するためには当社指定場所での作業が必要です。
- ※8 長期保管時の温度範囲は-20℃～35℃です。
- ※9 充電時間は、使用環境により異なります。

---

## パナソニック コネクト株式会社

〒540-8553 大阪府大阪市中央区城見2丁目2番33号

© Panasonic Connect Co., Ltd. 2024-2025

DHQP1116YA/J1  
P1224-1075